

大表示ヲ掲ケ入場者ニハ「敢テ天下ノ志士ニ訴ヘコス」
「從業員諸君、激ス」ト題スル印刷物ヲ配布スル等
聴衆又頗ル緊張シ、氣分ナリシカ別ニ不穩ノ刑跡ナ
ク安治川支部中村五郎兵衛ノ開會ノ聲ニ次々
左部辨士ノ講演アリテ、多ク感動ヲ興ヘタルモノ、如
ク中途中、大ノ宣言書ヲ朗讀シ、今九時五分無事
閉會日セリ

追テ今會場内ニ於ケル當所編入甲斐特別要視
察人山岩出金次郎、今山田正一、今吉村於也、金
咲首一、明今乙、錦新谷与一郎、警視廳甲斐
畑勝三、兵庫縣編入甲斐、西田然雄、當所思
想要注意人花岡潔、今林忠義、今鍋山貞親、
今岸井清、警視廳乙房、要視察人、赤原鍊太
郎等、何等異状ナク、靜肅ニ爲レ居レリ
(了)

宣言

我等ハ遂ニ起タネハナラナク、ナツタ今ヤ誠首サレタ
ル九百ノ生靈ハ、街路ニ迷ハントシツ、アル人々、告ケ
ントス我等ハ勿論暴力ニ訴ヘテ此ノ問題ヲ解
決ヤロウトハ思ハナイ、資本家ヨ及者セヨ汝等ニ
シテ、權謀術作ソノ非ヲ覺ラサルハ、我大阪ヲシ
テ暗黒ノ日ヲ近カツカシメル、口火トナルノテアル我
等ハ大阪市民ニ忠實テアル故ニ、我等ハ速ニ此
ノ争議ノ解決ヲ望ム者テアルサレト、我等ノ要
求ハ合理的ニシテ、伏仰天地ニ耻チサルモノナルカ
故ニ、我等ハ正義ノ爲ニ、屈スル能ハス能ハス能ハス
東ヲシ自重シ、而シテ餓死スル迄戰ハソ
我等ハ宣言ス、横暴ニシテ陋劣ナ資本家ノ陋策
ニ誘ハサレズ、歩度堂々最後ノ一人迄戰ハソ
右 宣言ス

大正十年五月十日

大電罷業團